

2024年8月8日

業種 サービス業

プレステージ・インターナショナル（東証プライム-4290）

～25/3期1Qはワクチン関連業務終了で減益、通期予想据え置き～

【業績動向】

[25/3期 第1四半期（連結）]

1Q（4-6月）は減益だが、ワクチン関連業務終了影響を除くベースは9.3%営業増益だったとしている。オートモーティブは既存業務拡大等で大幅増収だがロードサービス収益性低下で5%増益どまり、プロパティはホームアシスト新規受託やパークアシスト既存クライアント対応地域拡大等で22%増益、グローバルはヘルスケアプログラム価格改定や為替要因等で36%増益、カスタマーはワクチン関連業務終了で66%減益、金融保証は家賃債務保証の総合サービス化等で大幅増収だが貸倒関連費用増加で8%増益どまり、ITは納品進展で136%増益、ソーシャルはスポーツ事業戦力強化等で赤字拡大した。

通期の小幅営業・経常増益予想を据え置いた。岩手BPOなど国内BPO拠点開設を継続する。営業利益はオートモーティブが前年の反動減を考慮して2%増益、プロパティがホームアシスト拡大で41%増益、グローバルが海外渡航者サービス利用拡大で19%増益、カスタマーがワクチン関連業務終了で42%減益、金融保証が家賃保証拡大で12%増益、ITが40%減益、ソーシャルが赤字拡大の計画としている。

【会社概要】

1986年海外日本語アシスタント・サービス事業を目的として設立し、損害保険会社や自動車会社向けカスタマーコンタクト業務やアシスタンス業務などを展開するBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）企業である。各業界の専門知識・ノウハウに基づいて差別化されたサービスの企画・提供を特徴としている。利益還元は総配当還元性向30%目標である。19年4月純粋持株会社に移行した。

主要指標	4290				
2024年8月7日	現在				
・株価	671 円	・予想ROE	10.97 %	・発行済株式数	128,676 千株
・時価総額	863 億円	・予想配当	24.00 円		
・今期予想PER	15.86 倍	・予想配当利回り	3.58 %	・売買単位	100 株
・実績PBR	1.93 倍	・予想配当性向	56.74 %		

データ出所: アイフィスジャパン 予想数値はコンセンサス予想に基づく

業績推移(通期連結)	4290									
単位: 百万円、円、%	プレステージ・インターナショナル									
決算期	売上高	営業利益	経常利益	純利益	EPS	DPS				
	前年比	前年比	前年比	前年比						
2023/03	54,562	16.7	7,840	14.6	8,378	17.2	5,318	22.1	41.62	11.0
2024/03	58,738	7.7	7,921	1.0	8,458	1.0	5,791	8.9	45.34	12.0
2025/03 会社予想	63,000	7.3	8,000	1.0	8,500	0.5	5,300	-8.5	41.62	24.0
2025/03 コンセンサス予想	63,320	7.8	8,220	3.8	8,800	4.0	5,390	-6.9	42.30	24.0
2026/03 コンセンサス予想	68,450	8.1	9,450	15.0	10,040	14.1	6,150	14.1	48.30	30.0
2027/03 コンセンサス予想	74,673	9.1	10,190	7.8	10,723	6.8	6,557	6.6	52.90	30.7

利益相反に関する開示事項

TIWは、契約に基づき、アナリスト・レポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はTIWが独自の判断に基づき行っているものであり、第三者からの指定は一切受けておりません。

本レポートに掲載された情報・意見は、信頼にたると判断した情報源に基づき作成したものでありますが、完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は投資家ご自身の判断と責任で行って下さい。注意事項の詳細については最終ページをご参照ください。

【ビジネスモデルの特徴】

19年4月純粋持株会社に移行した。損害保険会社、自動車メーカー、クレジットカード会社、不動産管理会社、ブランド会社などを主要顧客として、カスタマーコンタクト業務、アシスタンス業務、アフターサービスに関する業務、決済・請求業務、損害調査業務、支払業務などのサービスを展開している。連結子会社イントラスト（7191）は家賃保証サービスを展開している。また22年7月には新規事業のモビリティサービスとして、エコモット（3987）と合弁でプレミア・ブライトコネクトを設立した

事業区分は、オートモーティブ事業（損害保険会社・自動車メーカー向けロードサービスなど自動車関連サービス）、プロパティ事業（分譲・賃貸マンション・戸建の一次修繕、コインパーキングのメンテナンスなど不動産関連サービス）、グローバル事業（海外旅行保険のクレームエージェンツ、駐在員向け医療サポート業務、クレジットカード発行業務など海外関連サービス）、カスタマー事業（国内のカスタマーコンタクトサービスなど）、金融保証事業（ワランティなど金融に関わる保証サービス）、IT事業（システム開発）、ソーシャル事業（女子スポーツチーム、保育事業など社会貢献事業）としている。

24/3期の事業別構成比は、売上高がオートモーティブ事業43%、プロパティ事業12%、グローバル事業14%、カスタマー事業14%、金融保証事業15%、IT事業1%、ソーシャル事業1%、営業利益がオートモーティブ事業45%、プロパティ事業6%、グローバル事業10%、カスタマー事業15%、金融保証事業26%、IT事業2%、ソーシャル事業▲5%だった。

第8次中期経営計画（25/3期～27/3期）では数値目標に27/3期売上高750億円、営業利益100億円、配当性向60%以上、ROE15%以上を掲げている。全体戦略として、品質と収益性の改善による成長余力の創出、サービスプラットフォーム利用型収益モデル（フロー型収益モデル）の開発、機動的な拠点展開（100席～200席規模のサテライト拠点の開設）を推進する。

【リスク要因】

企業のアウトソーシング方針変更によるBPO市場縮小、オペレーション品質低下による既存クライアント企業との業務委託契約終了、コンタクトセンターにおける人員確保難、多様化・高度化・グローバル化するBPO業務に対する人材教育遅れ、顧客情報漏洩、為替変動などがリスク要因となる。

【セグメント情報】

売上高				セグメント利益						
4290				4290						
単位: 億円、%				単位: 億円、%						
	2023/03		2024/03		2023/03		2024/03			
	構成比	構成比	構成比	構成比	利益率	構成比	利益率			
日本	512	94	545	93	90	93	17.6	79	90	14.6
米州・欧州	27	5	30	5	6	6	22.2	5	6	16.2
アジア・オセアニア	7	1	12	2	1	1	14.3	3	4	28.8
調整額	-	-	-	-	1	-	-	-9	-	-
合計	546	100	587	100	78	100	14.3	79	100	13.5

データ出所: アイフイジャパン

【Fモデルによる理論株価推計】（Fモデルの定義および説明は4ページを参照）

プレステージ・インターナショナル	4290	2024年8月7日	
実績PBR	: 1.93 倍	現株価	: 671 円
Fモデルによる妥当PBR	: 2.20 倍	Fモデルによる理論株価	: 767 円
		現株価との乖離	: 14.3 %

本レポートに掲載された情報・意見は、信頼にたると判断した情報源に基づき作成したものでありますが、完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は投資家ご自身の判断と責任で行って下さい。注意事項の詳細については最終ページをご参照ください。

【四半期決算データ】

四半期決算データ										
単位：百万円										
4290										
プレステージ・インターナショナル										
	2024年3月					2025年3月				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
売上高	13,917	14,846	14,981	14,994	58,738	15,048				15,048
前年同期比	10.4%	9.4%	5.0%	6.3%	7.7%	8.1%				8.1%
営業利益	1,889	1,968	1,997	2,067	7,921	1,729				1,729
前年同期比	0.2%	0.8%	-9.3%	14.8%	1.0%	-8.5%				-8.5%
経常利益	1,965	2,106	2,155	2,232	8,458	1,668				1,668
前年同期比	0.5%	1.1%	-6.4%	9.6%	1.0%	-15.1%				-15.1%
純利益	1,074	1,283	1,497	1,937	5,791	785				785
前年同期比	-2.4%	-5.5%	14.9%	24.4%	8.9%	-26.9%				-26.9%
売上高営業利益率	13.6%	13.3%	13.3%	13.8%	13.5%	11.5%				11.5%
自己資本比率	64.3%	64.3%	64.6%	64.9%	-	64.6%				-
純資産	43,054	44,843	44,800	47,224	-	48,016				-
総資産	62,601	65,087	64,621	67,836	-	69,364				-

データ出所：アイフィスジャパン

【過去の業績動向】

[24/3期 通期（連結）]

24/3期は小幅営業・経常増益だった。オートモーティブは既存サービス成長や価格改定効果等で24%増益、プロパティはパークアシストの成長や拠点新設等の先行投資一巡で17%増益、グローバルは海外渡航者数増加やヘルスケアプログラム会員数増加等で16%増益、カスタマーはワクチン関連業務縮小で49%減益、金融保証は家賃債務保証の新規契約数増加や更新保証料増加で38%増益、ITは前期の反動減で28%減益、ソーシャルは女子スポーツチーム「アランマーレ」における戦力強化や活動費増加等で赤字拡大した。なお特別利益に投資有価証券売却益675百万円を計上した。

25/3期も体制強化に向けた人員増加等を継続するため小幅営業・経常増益予想としている。営業利益計画はオートモーティブが前年の反動減を考慮して2%増益、プロパティがホームアシスト拡大で41%増益、グローバルが海外渡航者サービス利用拡大で19%増益、カスタマーがワクチン関連終了で42%減益、金融保証が家賃保証拡大で12%増益、ITが40%減益、ソーシャルが赤字拡大としている。

[24/3期 第3四半期累計（連結）]

3Q累計（4-12月）はカスタマーでワクチン関連業務が縮小したが、オートモーティブや金融保証の好調で吸収し、全体としては小幅営業減益にとどまった。オートモーティブはダイレクト系損保契約台数増加等で13%増益、プロパティはパークアシストの拠点新設投資完了による収益性改善で1%増益、グローバルは海外渡航者数増加やサービス利用増加等で47%増益、カスタマーはワクチン関連業務縮小で49%減益、金融保証は家賃債務保証・医療費用保証の契約者数増加で34%増益、ITは前期の反動減で44%減益、ソーシャルは女子スポーツチーム「アランマーレ」活動費増加等で赤字拡大した。

通期の小幅営業増益予想を据え置いた。営業利益計画はオートモーティブが収益性向上で29%増益、プロパティが増収効果で84%増益、グローバルが海外渡航者数回復で11%増益、カスタマーがワクチン関連業務縮小で59%減益、金融保証が家賃保証と医療費用保証の拡大で40%増益、ITが29%減益、ソーシャルが赤字拡大としている。3Q累計の進捗率は売上高77%、営業利益71%と概ね順調である。

本レポートに掲載された情報・意見は、信頼にたると判断した情報源に基づき作成したものでありますが、完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は投資家ご自身の判断と責任で行って下さい。注意事項の詳細については最終ページをご参照ください。

【過去の業績動向】

〔24/3期 第2四半期累計（連結）〕

2Q累計（4-9月）は営業・経常利益横ばいだった。主力事業が堅調に推移してワクチン関連業務縮小影響を吸収した。オートモーティブはダイレクト系損保契約台数増加等で13%増益、プロパティはパークアシストの投資完了と稼働率向上等で24%増益、グローバルは海外渡航者数増加等で16%増益、カスタマーはワクチン関連業務縮小で32%減益、金融保証は契約者数増加で31%増益、ITは前期の反動減等で84%減益、ソーシャルは女子スポーツチーム「アランマーレ」活動費増加等で赤字拡大した。通期の小幅営業・経常増益（純利益は前期の賃上げ促進税制を見込まず減益）予想を据え置いた。営業利益計画はオートモーティブが収益性向上で29%増益、プロパティが増収効果で84%増益、グローバルが海外渡航者数回復で11%増益、カスタマーがワクチン関連業務縮小で59%減益、金融保証が家賃保証と医療費用保証の拡大で40%増益、ITが29%減益、ソーシャルが赤字拡大としている。2Q累計の進捗率は売上高51%、営業利益47%と概ね順調である。なお自己株式取得を発表した。

〔24/3期 第1四半期（連結）〕

1Q（4-6月）は主要事業が牽引して2桁増収だが、利益面はワクチン関連業務縮小やスポーツチーム活動費用増加などの影響で営業・経常利益が横ばいだった。オートモーティブはダイレクト系損保契約台数や手配件数の増加で11%増益。プロパティはサービス利用者増加に向けた体制強化費用の増加で17%減益、グローバルは海外旅行者数回復で35%増益、カスタマーはワクチン関連業務縮小で30%減益、金融保証は契約数増加で42%増益、ITはライセンス解約で67%減益、ソーシャルは女子スポーツチーム「アランマーレ」のV1昇格に伴う活動費用増加で赤字拡大した。

通期の小幅営業・経常増益（純利益は前期の賃上げ促進税制を見込まず減益）予想を据え置いた。営業利益計画はオートモーティブが収益性向上で29%増益、プロパティが増収効果で84%増益、グローバルが海外渡航者数回復で11%増益、カスタマーがワクチン関連業務縮小で60%減益、金融保証が家賃保証と医療費用保証の拡大で40%増益、ITが29%減益、ソーシャルが赤字拡大としている。

〔23/3期 通期（連結）〕

23/3期は主要事業が牽引して2桁増収増益だった。オートモーティブは手配件数増加やロードサービス内製化拡大で11.9%増益。プロパティは物件数増加だがパークアシスト拠点展開投資で23.1%減益、グローバルは海外旅行者数回復や米国クレジットカード利用増加で46.2%増益、カスタマーはワクチン関連業務の期間延長で16.3%増益、金融保証は契約数増加で23.0%増益、ITは子会社解散で34.1%減益、ソーシャルは女子スポーツチーム「アランマーレ」スポンサー収入増加等で赤字縮小した。

24/3期は小幅営業・経常増益（純利益は前期適用の賃上げ促進税制を見込まず減益）予想としている。営業利益の計画は、オートモーティブが微増収だが収益性向上で28.6%増益、プロパティが増収や生産性向上で84.1%増益、グローバルが海外渡航者数回復による利用拡大で10.9%増益、カスタマーがワクチン関連業務縮小で59.5%減益、金融保証が家賃保証の堅調推移と医療費用保証の拡大で30.8%増益、ITが納品減少で29.1%減益、ソーシャルが増収だが赤字継続としている。

「Fモデル」について

「Fモデル」(Fertilize Fundamental Framework)は、「理論上では株価は、自己資本配当率(ROEと配当性向の積)、EPS成長率、無リスク証券の利回り(=国債利回り)、リスクプレミアムの4要素で決定される」という考え方を土台に、ROE値と成長性を一定の数値(インプライドの要求リターン)で割引き財務価値を加減することによって妥当PBR水準を算出するものである。

具体的には下記の算式によって求める。

$$\text{妥当PBR} = [\text{今期予想ROE} \times (1 + \text{来期EPS成長率}) \div \text{割引率}] - \text{ネットD/Eレシオ} \times (\text{負債コスト} \div \text{割引率})$$

割引率は、来期ベースの日経平均の要求リターン(10年国債利回り+インプライド・リスクプレミアム)を一律用いている。負債コストは暫定的に2%を適用する。ネットD/Eレシオがマイナスの場合(実質無借金)は、(負債コスト÷割引率)は1を適用する。

本レポートに掲載された情報・意見は、信頼にたると判断した情報源に基づき作成したものでありますが、完全性、正確性を保証するものではありません。本レポートに掲載された内容は必ずしも適切且つ妥当なものとは限りません。投資に係る最終決定は投資家ご自身の判断と責任で行って下さい。注意事項の詳細については最終ページをご参照ください。

本レポートについて

1) 本レポートは、情報提供を目的としてのみ作成されたものであり、有価証券売買の勧誘を目的としたものではありません。有価証券その他の取引等に関する最終決定は投資家様ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。

2) 本レポートは、「TIW」が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、これらの情報の正確性と、完全性、適時性を保証するものではありません。情報が不完全または要約されている場合もあります。本レポートに記載された価格、数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予測値であり、実際とは異なる場合があります。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート作成時における「TIW」の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

3) 本レポートは将来の結果を約束するものではなく、また、本レポートにある情報はいかなる目的で使用される場合においても、投資家様ご自身の判断と責任において使用されるものです。本レポートにおいて提供されるいかなる情報もしくは分析に、投資家様が依拠した結果として被る可能性のある直接的、間接的、その他の損害に関して、「TIW」または「TIW」にデータや情報を提供している提供者が責任を負うものではありません。

4) 本レポートに掲載された内容の著作権は、「TIW」または「TIW」にデータや情報を提供している提供者に帰属します。事前の承諾を得ずに、本レポートのすべてまたは一部を複製、販売、表示、配布、公表、修正、翻訳、頒布または営利目的での利用を行うことはできません。

「TIW」レポートは、株式会社アイフィスジャパンが発行しています。

株式会社アイフィスジャパン

東京都港区六本木 1-8-7 MFPR 六本木麻布台ビル 9 階

URL <https://www.ifis.co.jp/>